

一 山田村の古田志を編むに在りて浦加を考ふるに
 不詳なる事多し故に加役を以て其類上首尾
 二山田村の古田志を編むに在りて浦加を考ふるに
 敬して其はなすな府の懐古の事なりし
 御志を承て進篤有とす一 なるに何
 神急を不怠事ありんと云ふ果しと云ふ思ひ
 ありハ其向志舞の鳥鶴肉を焼けて用んと其考け
 ると人の誅多し何の動像もて考へたり
 考へハ果しと云ふ果しと云ふ人の考へ
 了し其考定む

弘化二年乙巳十二月三日夜八時

甲府天徳初後念寺自火焼失く

- | | | |
|--------|----------|-------|
| 黄金三十枚 | 根骨時斗拵八 | 櫛時斗三ツ |
| 大小二十八腰 | 大小牙斗長持一俵 | 大人考考 |
| 徳勝 三壺 | 麝香 二壺 | 小判或百枚 |
| 金或或之百枚 | 百後或或百枚 | 左介限百枚 |
| 後後代内廿五 | 泥殺或或百枚 | 馬具二長持 |
| 大黃 十袋 | 丁子 七袋 | 石籠拵百七 |
| 衣及草笥等 | 等 | |
- 其外取不知

中野園地... 翌日八時以去